

2019年7月30日

## 「ターム物 RFR 金利タスクフォース」の設立等について

「日本円金利指標に関する検討委員会」（以下、「検討委員会」）では、2021 年末以降の LIBOR の存続に対する不透明感が高まっているもとで、円 LIBOR に代替しうる金利指標の選択肢の一つとして、リスク・フリー・レート<sup>(注)</sup>（RFR）にもとづく金利の期間構造（以下、「ターム物 RFR 金利」）の構築に向けて、検討を進めてきました。

(注)「リスク・フリー・レート」は、銀行のクレジット・リスク等を反映しないレートのことです。

本邦では、2016 年 12 月に、「リスク・フリー・レートに関する勉強会」が、無担保コール・オーバーナイト物レート（TONA）を、日本円のリスク・フリー・レートとして特定しました。

この点、本年 6 月 5 日に開催された検討委員会では、ターム物 RFR 金利の算出・公表主体が当該金利の算出・公表に向けた検討や体制準備等を円滑に開始できるよう、当該算出・公表主体に対して、実務的なサポートを行う枠組みが必要と整理されました。

本件に関しては、本年 8 月中を目途に、検討委員会の協力のもと、ターム物 RFR 金利の算出・公表主体に対して実務的なサポートを行う新たな検討組織として、「ターム物 RFR 金利タスクフォース」（事務局：日本銀行金融市場局市場企画課。以下、「タスクフォース」）を設立する予定です。

タスクフォースでは、ターム物 RFR 金利の算出・公表にかかる全体スキーム、取引データ・気配値データのフロー、当該金利の詳細な算出方法など実務的な事項のほか、ターム物 RFR 金利の算出・公表主体の選定にかかる事項等について検討することを予定しています。

また、タスクフォースでは、検討委員会によるターム物 RFR 金利の算出・公表主体の公募に関し、適切な助言やサポートを行うことも予定しています。

本件に関する照会先：

日本銀行金融市場局市場企画課

大竹（03-3277-1244）、塩沢（03-3277-1246）

以上